

2 都市計画マスタープラン市民アンケート

まちづくりに関する市民の意向を把握するため、下田市民15歳以上75歳未満の男女1,200名を対象に、アンケート調査を実施した。

市民アンケートによると、現在の場所に住み続けたいという定住意向が高いなか、「既存の住宅地の居住環境の向上」、「中心市街地の商店街等の維持・活性化」、「伊豆縦貫自動車道の整備」は市民が抱えている大きな課題であり、課題の解決が必要である。

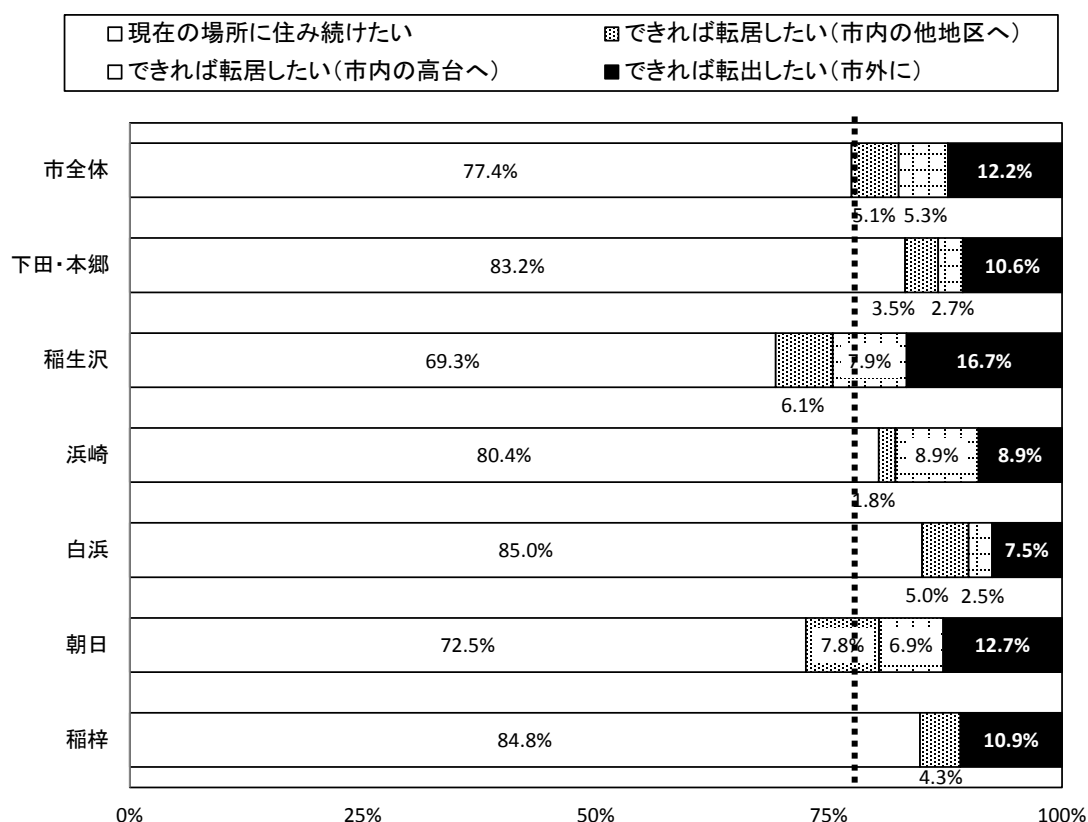
1. アンケート調査の方法と回収率等

- 配布数 1,200件（宛先不明10件）
- 有効回答数 468件（有効回答率39.3%）
- アンケート期間 平成26年2月4日（火）～平成26年2月21日（金）

2. アンケート結果

問 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか

エリア別将来も現在の場所に住み続けたいか

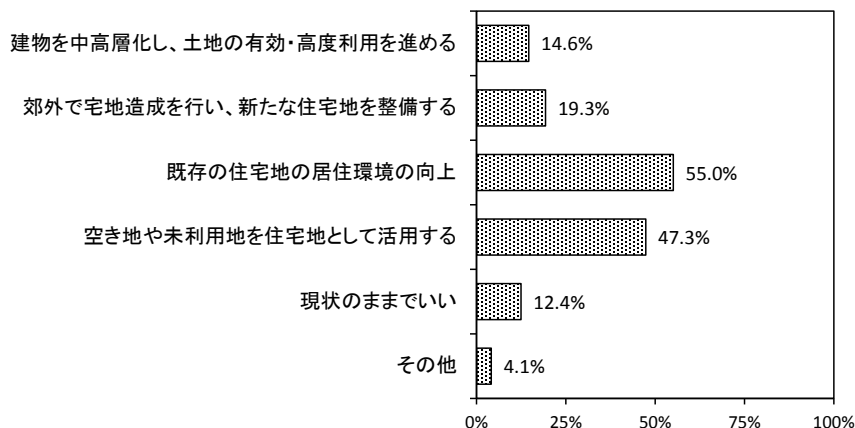


- 「現在の場所に住み続けたい」が最も多く77.4%、次いで「できれば転出した(市外に)」が12.2%となっている。

問 住宅地の整備について何を重視すべきだと思いますか（2つまで）

- 「既存の住宅地の居住環境の向上」が最も多く55.0%、次いで「空き地や未利用地を住宅地として活用する」が47.3%、「郊外で宅地造成を行い、新たな住宅地を整備する」が19.3%となっている。

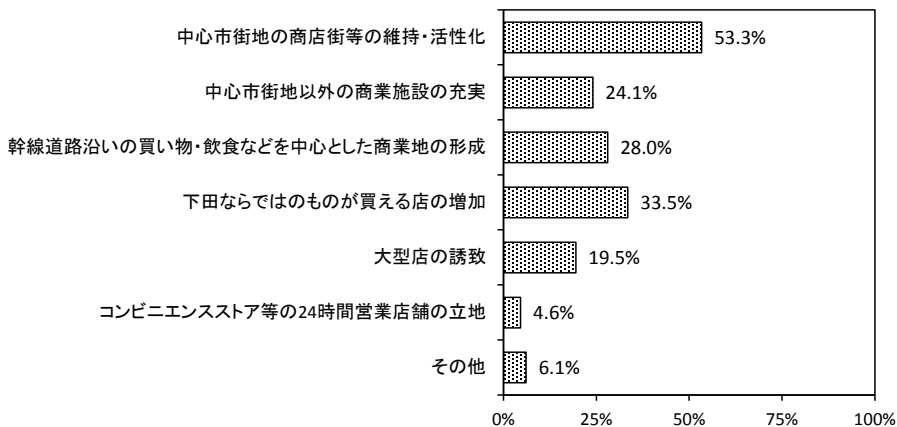
住宅の整備について



問 商業地について何を重視すべきだと思いますか（2つまで）

- 「中心市街地の商店街等の維持・活性化」が最も多く53.3%、次いで「下田ならではのものが買える店の増加」が33.5%、次いで「幹線道路沿いの買い物・飲食などを中心とした商業地の形成」が28.0%となっている。

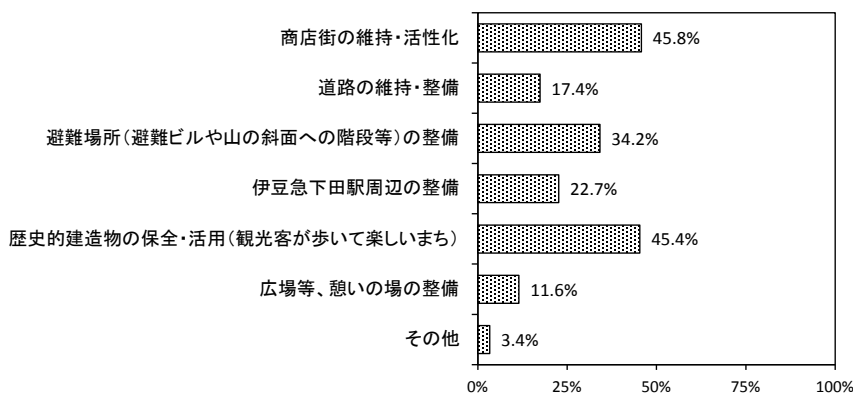
商業地について



問 中心市街地について何を重視すべきだと思いますか（2つまで）

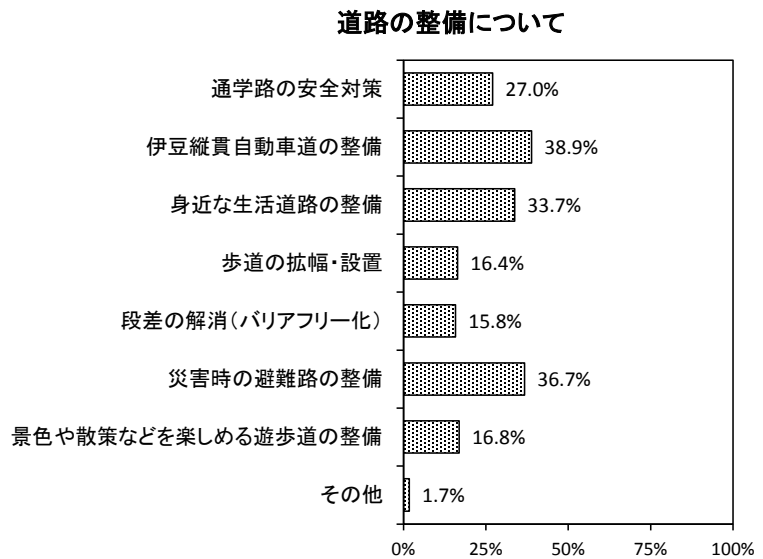
- 「商店街の維持・活性化」が最も多く45.8%、次いで「歴史的建造物の保全・活用（観光客が歩いて楽しいまち）」が45.4%、次いで「避難場所（避難ビルや山の斜面への階段等）の整備」が34.2%となっている。

中心市街地について



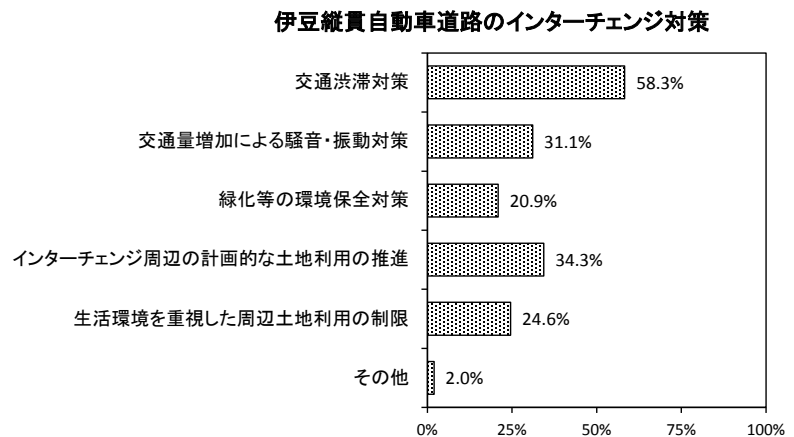
問 道路の整備について何を重視すべきだと思いますか（2つまで）

- 「伊豆縦貫自動車道の整備」が最も多く 38.9%、次いで「災害時の避難路の整備」が 36.7%、「身近な生活道路の整備」が 33.7%となっている。



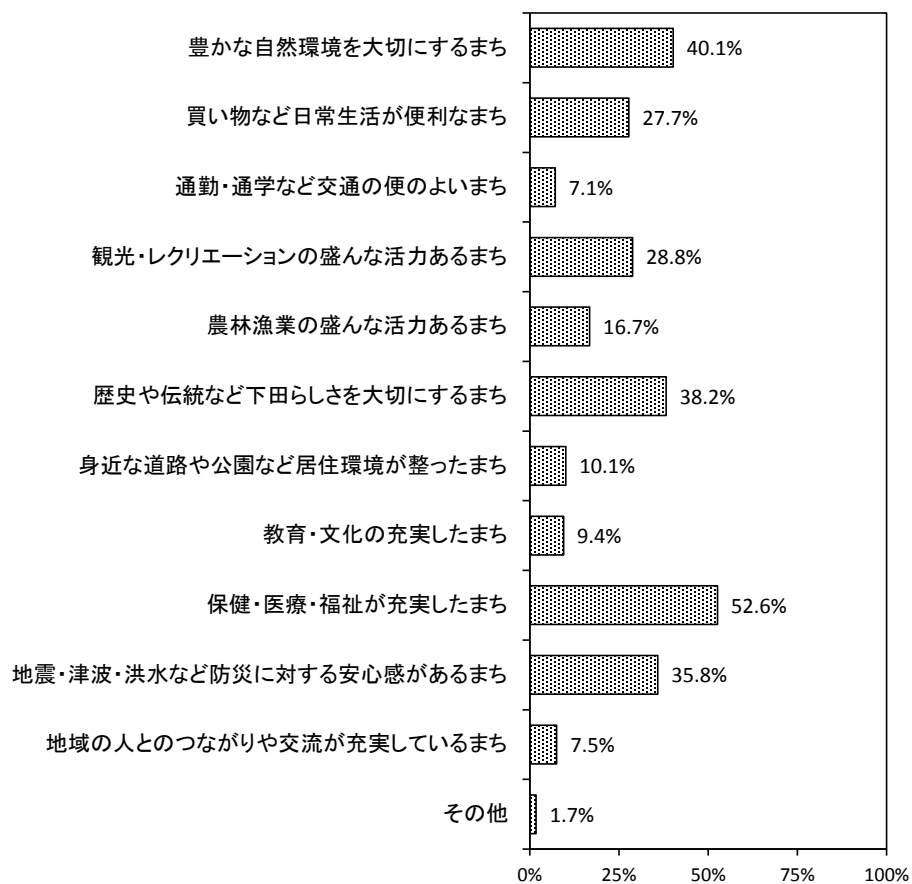
問 伊豆縦貫自動車道のインターチェンジが建設されるにあたり、どのような対策が重要だと思いますか（2つまで）

- 「交通渋滞対策」が最も多く 58.3%、次いで「インターチェンジ周辺の計画的な土地利用の推進」が 34.3%、「交通増加による騒音・振動対策」が 31.1%となっている。



問 あなたがこうなってほしいと思う下田市のイメージはどれですか

下田市のイメージ



- 「保健・医療・福祉が充実したまち」が最も多く 52.6%、次いで「豊かな自然環境を大切にするまち」が 40.1%、「歴史や伝統など下田らしさを大切にするまち」が 38.2%となっている。